

会期：2015年3月7日(土)～8日(日)

会場：東京大学本郷キャンパス

ホームページ：<http://www.jsrmpm.org/13JSRMPM/>

2014年10月

ご挨拶

第13回日本予防医学リスクマネジメント学会 会長

酒井 亮二（日本予防医学リスクマネジメント学会理事長、

国際医療リスクマネジメント学会理事長、日本医療安全学会理事長）

中谷 久恵（広島大学大学院医歯薬保健学研究院地域・在宅看護開発学教授）

日本予防医学リスクマネジメント学会(JSRMPM)は2002年3月の設立時の理事会から、その学会定款にみるように国際医療リスクマネジメント学会の下部組織です。JSRMPMは2013年からは医療安全以外の健康と安全の諸問題を取り上げる学会となりました。

さて、今回の総会テーマはJSRMPM理事会の場で中谷総会長のご発案によるものです。社会での多様なリスクの拡散というテーマは、JSRMPM理事会を構成する多分野と良く相応するもので、理事の先生方の厚い熱意によるものでもあります。公募する一般演題も健康と安全に関するリスクとクライシスに関する多分野の諸課題からご応募いただけます。

多様化するリスクに対するリスク管理とリスクガバナンスの戦略、更にはクライシス・マネジメントとクライシス・ガバナンスの戦略をどのように構築するかは、包括地域保健医療の最重要課題です。多くの方々の活発なご議論が不可欠ですので、よろしく願いもうしあげます。

酒井 亮二

『リスクの多様性と拡散ーコミュニティでの対応を中心として』

この度、歴史ある日本予防医学リスクマネジメント学会におきまして、第13回学術総会共同総会長を担当させていただくことになりました。

地域保健は幅広い分野を網羅しており、会員のみなさまは医療、行政、疫学、一般企業等の多様な分野でご活躍なさっている方々が中心です。総会では、災害、感染、環境、労働、教育に加え、今年度は療養・自殺・虐待や看取りといった福祉を含む「生活」のリスクにも焦点を当て、教育講演とパネル討論会を予定しております。

コミュニティでの危機は、ここ数年、あらたな脅威を次々と発生させています。この夏、局所的な豪雨が全国各地で発生し、特に被害が甚大であった広島市の土砂災害、御嶽山噴火による火山災害、デング熱・エボラ出血熱などの震撼する感染症は、もはや特定の安全管理や危機対策を越えて、オールハザードの時代が到来したことを如実に実感させられた事象です。

そこで、パネル討論会では、多様化し拡散するリスクに対し、専門領域からの演者にご登壇いただき、フロアのみなさまと共に行える討論を企画いたします。各分野からの提言が、生活における不測のリスクに対し、統括するアプローチとは何か考える機会になりますことを願っております。

会員のみなさまはもちろんのこと、非会員の方々へも広く周知いただきまして、多くの方にご参加いただける学術の場となりますことを、よろしくお願い申し上げます。

中谷 久恵